

小笠原諸島世界自然遺産地域の現状及び当面の課題
(地域課題に関する検討の進め方と合意形成のあり方について)

1. 小笠原諸島世界自然遺産に関わる地域課題の進め方と合意形成における課題

平成 24 年度から 25 年度にかけて行われた第 1 期生態系アクションプラン(※)の見直しの過程において、「有人島において、人の生活・産業等との関係への言及がない」ことが、アクションプランの運用上の課題の一つとされていた。この点の改善を図るため、生態系アクションプランの見直しと並行して、村民意見交換会の実施、地域課題ワーキングの設定、地域連絡会議の実務者会合等、いくつかの試みが進められてきた。

平成 26 年 12 月に外来ネズミ類の駆除のための事業説明会及び地域連絡会議実務者会合において、殺鼠剤の使用に伴う自然環境や生活、健康への影響などについての説明が不十分であるとの意見が多く出された。平成 27 年 1 月には、殺鼠剤の安全性評価に関わる資料の一部に誤りが確認され、地域への事前説明や合意形成が不十分であることが明らかとなった。

地域の生活や産業に関わることについての理解の醸成や合意形成の重要性は、ネズミ駆除事業に限らず、小笠原諸島世界自然遺産の管理に共通する課題である。住民が小笠原で行われている事業の内容を知ることができる情報の透明性の確保と、それらの事業に対して住民が抱える不安や疑問に答え、意見や要望等について話し合うため、定期的な情報の発信、地域課題ワーキング、村民との意見交換会等の場の充実が急務である。

2. 平成 26 年度第 1 回地域連絡会議での、地域課題の進め方に関する主な指摘事項

(1) 地域連絡会議等の開催について

- ①地域連絡会議等の年間スケジュールは 4 月に示すこと
- ②地域連絡会議等の要望事項に対する対応状況を示すこと。
- ③地域連絡会議は意見交換会で出た意見を踏まえた議論をすること。

(2) オオコウモリ対策、ネズミ対策

- ①ネズミ被害の対応機関・窓口の設定を行うこと
- ②国、都、村が協力し、コウモリ・ネズミ対策実施計画の検討を早急に行なうこと

(3) 地域連絡会議での議論内容

- ①事業報告ではなく、今後の対策の具体案について意見を述べる場とすること
(細かい話は、別の機会に行うこと。)
- ②村民意見交換会の参加者が増えるような準備を行うこと。
- ③会議意見に対する回答・フィードバックを行うこと。

(※) 生態系保全アクションプラン

生態系保全アクションプランは、管理計画を補完する具体の行動計画として、短期的な目標や対策の優先順位、手段、内容を示すもので、2014 年 3 月に改定された。

参考 平成26年度の世界遺産の地域課題についての主な議論（地域連絡会議本会除く）

【7月3日】

平成26年度第1回世界自然遺産地域「村民意見交換会（父島、母島）」

- ・今後の世界自然遺産関連の予定
- ・暮らしに身近な地域課題（オガサワラオオコウモリ、ネズミ対策、外来種の拡散防止対策等）への対応状況の報告

【7月29日】

第1回新たな外来種の侵入・拡散防止に関するWG（父島開催）

（科学委員会下部WG、地域連絡会議下部地域課題WG合同開催）

- ・外来アリ類の緊急対応と未然防止に関する対応方針
- ・ニューギニアヤリガタリクウズムシの未然防止に関する対応方針

【9月4日】

第2回新たな外来種の侵入・拡散防止に関するWG（母島開催）

（科学委員会下部WG、地域連絡会議下部地域課題WG合同開催）

- ・ニューギニアヤリガタリクウズムシに関する対応方針

【10月24日】

地域連絡会議「オガサワラオオコウモリの共生に係る地域課題WG」

- ・オガサワラオオコウモリの共生に係る目標について
- ・オオコウモリに関する必要な対策項目の洗い出し、今後の対応方針について

【12月26日】

平成26年度 小笠原諸島世界自然遺産 地域連絡会議実務者会合（第1回）

- ・カタツムリの飼育状況の視察
- ・兄島での緊急対応について
- ・小笠原諸島のネズミ対策の全体的な議論をする場の設定について

【1月24日】

世界自然遺産に関する村民意見交換会（母島）

- ・ネズミ・オオコウモリと村民生活

【1月31日】

村民向け兄島滝之浦視察会

【2月1日】

世界自然遺産に関する村民意見交換会（父島）

- ・ネズミ・オオコウモリと村民生活

【3月11日（予定）】

小笠原諸島ネズミ対策検証に係る住民説明会

（*）上記の他、各種事業の説明会や、講演会を適宜行っている。